

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	・ 叙述を基に、心情を考えたり、表現したりする児童が多い。 ・ 自分の考えを分かりやすく文章に表すことに課題がある。	・ 引き続き、大事な語句や文章に着目させる活動を行い、物語の登場人物の心情を自分なりに表現できるようにする。 ・ 書き方の例や表現の仕方の例を示し、文章の構成や適切な表現方法について、見通しをもって取り組めるようにする。また、書いた文章を友達と読み合ったり、推敲したりする活動を繰り返し行うことで、書く力や表現力を高める。	
社会	・ 社会的事象に興味をもったり、その事象に関連する事柄を調べたりする活動に意欲的に取り組む児童が多い。 ・ 適切な資料を集めたり、選んだり、そこから必要な情報を読み取ることに課題のある児童が多い。	・ 身の回りの事象から児童が学習課題を見出し、見通しをもって追究させることで、見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるように授業展開を工夫する。 ・ 探究的学習を展開できるような学習計画を立て、資料の活用が必要となる授業を適宜行っていく。また、電子黒板を利用した効果的な資料提示を行い、その資料から特徴や考察を考える指導を繰り返し行う。	
算数	・ 自分の考えを分かりやすくまとめたり、表現したりする児童が多い。 ・ 自分の考えと友達の考えを比較し、解き方の良さに気付くことに課題がある。	・ 児童の考えを引き出すために「なぜそう考えるのか」と問いかけ、正解よりもプロセスが大切であることを意識付ける。 ・ 異なる考えを意図的に取り上げ、異なる点や良い点はどこか児童に繰り返し発問をし、それぞれの良さを考えられるように指導する。	
理科	・ 実験や観察、デジタル教科書等を活用した動画視聴などの活動に興味・関心が高い。 ・ 身近な出来事と結び付けて考察したり、根拠を示しながら予想や考察を説明したりすることに課題がある。	・ 身近な事象や経験したことと結び付けながら考えるように指導する。また具体物を用いたり、実験を多く取り入れたりすることで、体験的な活動を増やし、実生活との結び付きに気付かせるよう指導を工夫する。 ・ 予想を立てる際に、常に根拠とセットで考えるように指導する。	
音楽	・ 曲想を感じ取って思いを持ちながら身体を動かし楽しく歌うことができる児童が多い。自然で無理のない発声にも前向きに取り組むことができるようになってきている。	・ 曲の特徴をとらえた表現ができるように、曲に対しての気付きを深めたり、強弱や速度、スタッカートなどの表現方法を工夫したりして、表現する楽しさを味わい思いを膨らませる活動	

	・互いの歌声や副次的な旋律を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けることが必要である。	・を多くしていく。 ・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて歌うことができるように、輪唱や曲の一部分が二部合唱になっているものなど選曲を工夫し、歌声が重なる経験を多く学習していくことで楽しく無理なくできるようにしていく。	
図画工作	・新しい画材や技法への興味・関心が高い。 ・自分の感覚や想像力を通して考え、表現することが少ない。	・新しい画材や技法の指導を丁寧に行い、活用する場面を設定することで児童の興味、関心を持続できるようにする。 ・すぐにタブレットで参考画像を検索するのではなく、過去の経験や思い出を基にして表現するように指導する。	
家庭	・裁縫や調理等の学習に意欲的に取り組む児童が多い。特に、お茶の学習の際には、お茶の入れ方や茶葉の種類などに関心をもち、意欲的に取り組む児童が多かった。 ・裁縫道具や調理道具を扱う際に、周囲への配慮が足りなかったり、違う用途で使おうとしたりするなど、安全面で課題のある児童がいる。	・裁縫や調理等の実習はグループ活動を基本とし、児童同士で助け合い、基本的な技能を習得しやすくする。また、今後は生活と結び付けて学習できるように、家庭と連携しながら学習を展開していく。 ・裁縫や調理実習では安全に十分気を付けるよう事前に指導を徹底する。また、自分の周囲にいる児童の動きもよく確認するよう指導し、児童同士が互いに気を付け合えるようにする。	
体育	・どうすればより良い動きになるか等、前向きに思考しながら活動する児童が多い。 ・苦手な単元では、前向きに活動に取り組めない児童がいる。	・思考のヒントとなる資料や、1時間ごとの思考する内容を明確に提示したりすることを続ける。 ・スモールステップで課題を細分化することに取り組む。また、動画や友達との関わりの中で自分自身の成長を振り返る時間を設け、自信につなげる。	
外国語	・歌やチャンツ、簡単なスピーチ活動などの帯活動において、英語の音声やリズムに親しみながら、自分の考えや気持ちを積極的に表現することへの興味・関心が高い。 ・音声と文字の認識（結び付き）の定着に課題が見られる。	・音声活動の直後に既習語の文字を短時間提示するなど、音と文字を関連付けるミニ活動を継続的に取り入れる。また、語の頭文字や基本的な音の対応に触れる簡易なフォニックスを導入し、文字への気付きを促す。 ・単元の中では、教師が音声とともに文字を指さす視読や、語の一部のみを扱う部分読みなど、負担の少ない読みの活動を段階的に取り入れる。また、書字については、一文字を書く・な	

		ぞるなどのスモールステップを設定し、読み書きの基礎を無理なく育成する。	
道徳	- 自分の考えを、他者に発信することができる児童が多い。 - 相手の考えを受け止め、自分自身の生き方を深めたり広げたりすることに課題がある。	- 引き続きペアやグループ、クラス全体での意見の共有を行い、話し合う活動を充実させる。 - 様々な意見を教師が肯定的に受け止める。そして、児童のそういった姿勢を称賛していく。また、毎時間、自分自身を見つめる時間を十分に確保することで、学習内容から課題を自分事として捉えられるようにする。	
総合	- 自分で課題を見出し、興味をもって主体的に取り組んでいる児童が多い。 - 情報収集する力は身に付いてきたが、課題について、その情報を聞き手に合わせて、分かりやすく表現する力を高めたい。	- 意欲的に取り組む姿勢を称賛しつつ、学習のめあてやゴールを明確にして、見通しや相手意識をもちながらすすんで学習に臨めるようにする。 - 学習したことを、友達同士で見合う経験を積み重ねる。発表後には必ず振り返りを行い、改善を図り、表現力を高める。	